

## 警察署協議会会議録

直方警察署協議会

開催年月日時	令和7年11月19日 午後2時00分 から 令和7年11月19日 午後3時15分 まで	
開催場所	直方警察署 4階大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下8名
	警察署	署長、副署長、総務課長、会計課長、生活安全課長、宮若警部交番所長、刑事課長、交通課長、警備課長、総務第二係長
議事概要		
<p>【会長挨拶（要旨）】</p> <p>直方警察署の皆様におかれましては、地域住民の安全・安心のために日々御尽力いただき感謝申し上げる。</p> <p>11月は、「児童虐待防止推進月間」である。少子化が進む中、子供たちは、「地域の宝」であり「国の宝」であると言われている。子供たちの見守りや安全教室などに力を入れることは大切なことだと思うので、よろしくお願ひする。</p> <p>本日も、地域の安全・安心のために忌憚のない意見や要望をお願いする。</p>		
<p>【署長挨拶（要旨）】</p> <p>平素から各種警察活動に御協力いただき感謝申し上げる。</p> <p>本日は、「少子高齢化社会と警察の人材育成」と県下逮捕術大会の結果について説明させていただく。忌憚のない御意見や御要望をお願いする。</p>		
<p>【報告事項等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 少子高齢化社会と警察の人材育成について（副署長） <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 少子高齢化社会における警察官採用情勢</li> <li>(2) 直方警察署の人材育成</li> <li>(3) 新任警察官の意見発表</li> </ol> </li> <li>2 県下逮捕術大会結果紹介（生活安全課長）</li> </ol>		

議 事 概 要

【質問及び回答】

- 新任警察官の意見発表に関して、委員らから

「組織としてしっかりと教育がなされており、素晴らしい人材が育っていると感じた。」

「今後の活躍を期待している。しっかりと経験を積んでほしい。」

「意欲を持って仕事に取り組まれているのを地域の皆さんにも知ってほしい。」

「皆さんに熱い思いを持って活動していることに、地域の者としてありがたく思っている。」

「市民から見ると、ベテランも一年目も同じ警察官に見える。厳しい世界だと思うが、若いからこそできることがたくさんあると思うので、日々新しい気持ちを忘れずに頑張ってほしい。」

等の感想が聞かれた。

- 委員から「人材育成に関して、職員に対するアンケート結果の説明があつたが、それを受けて改善等は行っているのか。」旨の質疑がなされ、副署長から「アンケートの結果を全所属に公表している。特に、指導する側とされる側に意識のギャップがあることにより、指導が上手くいかないケースが散見される。指導員に対して、指導する側の意識を変えるような教養を行っている。」旨回答がなされた。

- 委員から「逮捕術には用具により攻撃の反則があるとの説明を受けたが、制約のある現場で対応するための訓練を行っているのか。」旨の質疑がなされ、生活安全課長から「逮捕術訓練の目的は、犯人の制圧、逮捕であり、普段から現場活動を念頭に訓練している。」旨の回答がなされた。

- 委員から「道路で停止線が消えているのをよく見かける。」旨の意見がなされ、交通課長から「把握したものから、順次、塗りなおし等の工事を申請している。」旨の回答がなされた。

【署長総括】

- 今後、定年が65歳になり、50歳代以上が5割になる時代がやってくる。そんな情勢の中で、当署の新任警察官の力強く前向きな発表を聞き、少し安心することができた。経

議 事 概 要

験を積む唯一の方法は失敗すること。また、失敗しないためにはやはり経験を積むことしかない。前向きに、粗削りではあるが力強さを持って、プロフェッショナルを目指して欲しい。指導員がマンツーマンで指導しているが、失敗するかもしれない。しかし、失敗を糧に成長し、将来の県警を担っていってほしい。

- 逮捕術の訓練の目的は、現場執行力を強化し、必要最小限の実力行使で相手を制圧し、自分が殉職、受傷事故を負わないことである。自分の身を守りながら、自信を持った職務執行できるように日々訓練を行っている。

【閉会】

次期開催日等の説明があった後、閉会した。